

2026年5月11日

プレスリリース

アイ・ティ・イー、インド/国鉄・旅客鉄道への省エネ低温物流実装による広域輸送網のGX化実証事業が、経済産業省の令和6年度補正 グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金（小規模実証・FS事業）に採択

アイ・ティ・イー株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：パンカジ・ガルグ）は、2026年5月11日、インド/国鉄・旅客鉄道への省エネ低温物流実装による広域輸送網のGX化実証事業が、経済産業省の令和6年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金（小規模実証・FS事業）に採択されたことをお知らせします。

この度、採択された事業は、インド国における旅客鉄道による省エネ低温物流インフラの構築（GX化）ならびに、鉄道車両の温度/在庫追跡システムの導入（DX化）によって、インドの脱炭素化を目的としています。

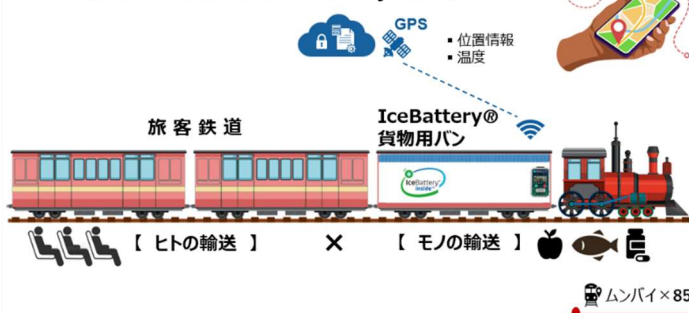
\* 令和6年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金  
（小規模実証・FS事業）特設HP

<https://gs-hojo-web-fspoc.jp/index.html>

今日、インドでは低温物流インフラ未整備やエネルギー多消費（電力・燃料）によって、食品・医薬品ロスや膨大なCO<sub>2</sub>排出などが課題とされています。

本事業では、郵便配送において世界最大級のネットワークを有し、人口約95%をカバーする旅客鉄道の郵便専用車にIceBattery®を搭載したハイブリッド型冷蔵車両を導入します。さらに各車輛にDX/IoT端末を設置し、遠隔での温度・在庫管理により物流の効率化と品質向上を目指します。

▼図1：旅客鉄道のGX化イメージ  
（旅客鉄道郵便車両にIceBattery®搭載）



- インド鉄道の郵便インフラ×IceBattery®によりグリーンな低温物流を実現
- 旅客鉄道×DXにより、遠隔での温度・在庫管理を実現

▼図2：旅客鉄道のDX化イメージ



アイ・ティ・イー株式会社について：

アイ・ティ・イー株式会社(ITE)は、高性能蓄冷材『IceBattery®』を活用した低温物流に必要な機材を自社開発し、輸送中に電源を一切使用せずに温度と品質を担保する環境にやさしいコールドチェーン全体のソリューションを提供する。さらに近年はDX化に注力し、貨物のリアルタイムのパラメーター追跡（温度・湿度・位置・衝撃・開閉・振動）システムを提供している。

---

問合せ窓口：

住所 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビル10F

電話 03-6206-3101

メールアドレス [info@ithrue.com](mailto:info@ithrue.com)